

# キャンパス散策（龍谷大学）

## 【歴史・沿革】



龍谷大学は、1639年に西本願寺学寮（僧侶養成機関）として創設され、以来、370年を超える歴史を有しています。

浄土真宗の教えを建学の精神として掲げるわたしたちは、豊かな人間性を形成することを

目的とした教育・研究環境を構築し、数々の改革変遷を重ね、多くの人材を育んできました。現在は、京都の大宮・深草キャンパスと大津の瀬田キャンパスの3キャンパスにおいて、教育・研究活動を展開しており、7学部、1短期大学部、8研究科、1専門職大学院を擁する総合大学として、多くの学生に、浄土真宗の精神に基づく人間教育を行ってきました。



大宮キャンパス



深草キャンパス

今年、新たなチャレンジと変化の始まりの年と位置づけ、2020年までの全学的な行動計画である第5次長期計画をスタートさせました。この第5次長期計画において、本学は「進取と共生、世界に響きあう龍谷大学」というスローガンを掲げました。今後は、このスローガンのもと、教育・研究・社会貢献機能の充実を図り、「進取」と「共生」の精神を理解し社会に貢献する人材の育成をめざします。

## 【キャンパス&龍谷ミュージアム（新設）】

本学の京都と瀬田の3キャンパスは、それぞれ異なった雰囲気を持ち、設置学部にあわせて特徴をもった施設・設備が整備されています。深草キャンパスは、本学最大の学生数を擁するキャンパスであり、四季の変化に彩られた地域に開かれたメインキャンパスです。瀬田キャンパスは、理工学部を擁しており、最先端研究を行う施設・設備を保有するとともに、社会学部・国際文化学部も擁しており、文理融合型の自然共生キャンパスです。更に、大宮キャンパスは、本学の積み重ねた歴史の象徴ともい



瀬田キャンパス

える明治初期の洋風建築が残るめずらしいキャンパスであり、貴重な建造物として、国の重要文化財に指定されています。他にも、貴重な文献や資料等の文化的遺産を大宮図書館で所蔵しています。



龍谷ミュージアム

を分かりやすく紹介する、他に例のない仏教総合博物館である「龍谷ミュージアム」が誕生します。本ミュージアムでは、本学が所蔵する国宝級の貴重な学術資料の展示や、特別展や企画展を開催いたします。



ベゼクリク壁画復元展示

## 【新学部・新学科】

2011年4月、深草キャンパスに、「政策学部」と「大学院政策学研究科」を新設します。更に、60年の歴史を持つ短期大学部は、「社会福祉学科」「こども教育学科」の2学科制に改組します。また、法学部法律学科等も定員を増やす等、大学改革を推し進めます。

### ①政策学部

現代社会は、地球温暖化や少子高齢化等の構造変化により、様々な課題を抱えています。こうした課題を解決し「持続可能な社会」を実現するためには、行政をはじめ、企業やNPO等の多様な主体が協働し、社会の公共や公益を実現することが求められます。政策学部では、「社会の持続可能な発展のために行動し、協働型社会を担うために必要な公共性と市民性を持ち、国際的な視点から政策を提案し実行できる人材」の育成を目指します。

### ②短期大学部こども教育学科

政策学部と同様に、2011年4月より、短期大学部は社会福祉科の単科より、「社会福祉学科」と「こども教育学科」の2学科体制に移行し、こども教育学科は、保育士、幼稚園教諭二種免許状の両方が取得できる予定です。このことにより、保育・幼児教育のエキスパートの育成をめざしています。

## 【新たな龍谷大学の創造に向けて】

本学は、創設以来、人間性豊かで深い学識と教養をそなえる人材の養成に努めて来

ましたが、とりわけ1975年からは、社会や時代に即した人材養成に対応する大学を創造するため、長期計画を策定し、教育や研究等の充実・発展に取り組んで来ました。

2010年度からは、新たな長期計画である「第5次長期計画」をスタートさせました。この長期計画に従い、本学は更なる発展と充実をめざしています。

スローガン：「進取と共生、世界に響きあう龍谷大学」

使命：龍谷大学は、建学の精神（浄土真宗の精神）に基づく、すべての「いのち」が平等に生かされる「共生」の理念のもと、「人間・科学・宗教」の3つの領域が融合する新たな知の創造に努めるとともに、人類社会が求める「時代を担う人間」の育成を図り、学術文化の振興や豊かな社会づくり、世界の平和と発展に貢献することを使命とする。

基本方針：①教育にかかる基本方針

建学の精神に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成する。

②研究にかかる基本方針

総合大学としての多様性と学際性を生かし、伝統と地域を基盤にした特色ある研究や国際水準の強みのある研究に取り組み、国際的な学術文化の向上と科学技術の振興、地域社会の発展に寄与する。

③社会貢献にかかる基本方針

社会の要請に応じて、産業界や行政、NPO、NGO等と連携を図りながら、社会人等に対して、生涯にわたる多様な学びの機会を提供するとともに、研究や社会連携活動を通じて持続可能な社会形成に寄与する。

※詳しくは、<<http://www.ryukoku.ac.jp/2020/index.html>>をご覧ください。

〈参考〉

	年度	主な目標
第1次長期計画	1975～1984	教育環境の充実、マスプロ教育の改善
第2次長期計画	1985～1990	教育改革を最重要課題とし、抜本的なカリキュラム改革を行うと共に、集中的で系統的かつ段階的な教育体系を構築した（ Semester制・コース制・グレード制の導入）。
第3次長期計画	1991～1999	教育・研究の開放化、国際化および地域交流の活性化
第4次長期計画	2000～2009	「共生をめざすグローバル大学」を21世紀の大学像として掲げ、「個性化」「高度化」「流動化」「多様化」の4つの視点から改革に取り組んだ。